

【24 期生】

分かるまで質問をして、自分の理解を確実なものに

首都圏の国立大学に入学し、理学療法士を目指す女子学生



4月から大学の寄宿舍での生活が始まりました。里親家庭を離れて初めての一人暮らしです。入学式の前日が入舎日だったのですが、何もかも初めてのことなので、今後どうなって行くのだろうと不安でしたが、先輩方や先生方にも恵まれて、いよいよ未来への第一歩を踏み出したのだと、勉学に対する新たな決意が湧いて来ました。

女子学生用寄宿舍は大学の敷地内にあつて、セキュリティが二重になっているので、外部からの侵入に対しての不安はありません。また周囲にはコンビニやスーパー、食堂などが点在していてとても便利です。

入学式の翌日からはオリエンテーションが2日間続き、本格的に授業が始まったのは入学式から3日目でした。大学の授業のペースは、高校の時と比べてはるかに速く、最初はついていくことで精一杯でした。また専門的な分野を学習していくため、用語を一つ覚えるのにも時間がかかりました。しかし、先生によっては、模型を触りながら一つ一つの構造を丁寧に確認させてくれるので、楽しく学ぶことができます。もちろん、授業のなかで分からないことも出てきますが、その時は分かるまで質問をして、自分の理解を確実なものにしています。

寄宿舍での生活では、今までほとんどのことを里母にしてもらっていたので、すべてのことを自分でやることの大変さを実感しています。また軽い自炊も行うようになり、自分で何かを調理してできた料理は、とてもおいしく一人暮らしをする前からやっておけば良かったと少し後悔しています。

私は理学療法士になって術後の急性期や回復期の手助けをすることや、高齢者や障害者、ケガ・病気などで生活に支障をきたしている人たちの手助けをすることが夢ですが、時間的に余裕があれば教職課程（中高保健一種）も視野に入れて勉強したいと考えています。そのためにはこの一年間をどのように過ごしていくかが重要になりますので、気を緩めずしっかりと過ごしたいと思います。

子どもたちから見た先生について考え、新発見も

首都圏の国立大学に入学し、教員を目指す女子学生

国立大学の教育学部に進学しました。その際にかかった費用を事業団の奨学

金によりまかなうことでアルバイトによる時間的な負担を減らし、より学業に時間をあてることができました。

大学では教育学部の必修科目と選択科目を学んでいますが、私が1番興味を惹かれたのは”教員のあり方を問う”科目です。大学に進学するまでは、憧れの気持ちやこの科目が好きだからという自分からの目線で教員という職業について考えていました。しかし、大学では子どもたちから見た先生、というものについて考えることが多く、新たな発見を得ることができました。

例えば、「よい先生、悪い先生とはなにか」という題名でグループディスカッションを行う授業があり、私はいつも気にかけてくれる先生をよい先生である、と考えました。しかし、同じグループの人から「過干渉なのは子どもの成長の妨げになるのではないか」「全ての子どもを気にかけるのは現実的ではないので、無意識だとしてもひいきが生まれてしまうのではないか」という意見が出ました。反対に、同じグループの人が「子どもと仲が良すぎる先生は、なめられてしまったりするから悪い先生でもある」と発表していましたが、私は「子どもと仲が良く、同じ目線で考えられる先生はよい先生であると思う」と発表しました。この授業から、誰かにとってのよい先生は誰かにとっての悪い先生であるのかもしれない、という気づきを得ることができ、自分の目指す教員像について今一度見つめ直すことができました。

まだ1年生なので専門性が深い授業は少ないですが、高校とは大きく異なる大学の環境や初めての一人暮らし、同じ目標を持った友人たちと過ごすことで勉強以外でも学びを得ることができました。

自分の目指す将来を実現させるため、そして奨学金を給付していただいた事業団の方々へ少しでも良い報告ができるよう、この大学4年間を充実させたいと思います。教員になるために勉強を積み重ねると同時に、アルバイトやサークルなどの人生経験も積んで、よりよい教員になれるよう努力していきます。

答えのない問いを考えていくことが多く、とても新鮮

都内の私立大学に入学し、社会福祉協議会職員を目指す女子学生

この度は大学に進学し、晴れて大学生になることができたことに喜びを感じております。奨学金申請時の作文に記載した第一志望の大学が不合格となってしまいましたが、別の大学に入学することができました。この大学に入学することができたのも何かのご縁があると受け止め、置かれた環境で一生懸命頑張っていきたいと思います。



通っている学科は、学びの領域が環境、メディア、自立の三つの領域に分かれており、1学年では幅広く学んでいきます。入学してまだ1ヶ月ではありますが、学んでいて面白いと感じる授業に出会うことができました。面白いと感じている授業は、SDGs、主に環境問題をテーマに企業、国家、消費者の視点から考えていくという内容の授業です。それぞれの視点から環境問題に対して考えていくので、なかなか自分なりの答えを出すことに時間がかかってしまいますが、環境問題を以前よりも自分ごととして捉えるようになりました。主に福祉関係のことに興味があり学びたいと感じていましたが、この学科に入学してまた新たに興味のある分野が一つでき、選択肢の幅が広がったような気がして、とても嬉しさを感じています。また私は基督教の真理を追求する理念に基づき物事の本質を追求したいという思いがありました。大学では必修科目として、ソク

ラテスなど数多くの哲人の考え方や行動に基づき、吟味していく授業があります。難しいと感じながら授業を受けていますが、答えのない問いに対して考えることが、人間にとって大切であることを感じています。この授業に限らず、大学の授業では高校の授業と違い、答えのない問いに対して考えていくことが多く、そのことがとても新鮮でした。その分難しいと感じることも増えましたが、新しいことを吸収していく楽しさは何ものにも変え難いと思います。

これからもまだまだ知らないことに会おうと思いますが、学べることは全部吸収して、将来の進路選択、そして一人間として確立できるように頑張りたいと思います。大学4年間をどう過ごすかで変わってくると考えているので、大学生でしか経験できないことに挑戦し、卒業時に胸を張って頑張れた学生時代だったと思えるように精進していきます。

6月のワインディング大会で雪辱期す

中部地方の美容専門学校に入学した男子学生

美容専門学校美容科に入学しました。AO入試での受験だったため、入学式前に特待生試験を受けることが出来ました。内容は、筆記試験と実技試験でした。前者は現代文、後者はワインディング技術についての試験でした。ワインディングとは私の目標である美容師資格の国家試験課題となる技術の一つで、髪をロ

ッドという棒に巻きつけ、パーマを作る美容師の基礎技術です。入学の1ヶ月ほど前に練習会が行われ、そこでやり方を教えていただきました。その後は家での自主練習を各自が行い、試験に臨むというものでした。高校卒業後、暇を持て余していたこともあり、ほとんどの時間をワインディングの練習時間に充てていました。準備万端で挑んだ試験の結果は不合格でした。自分の中では精一杯練習をして臨んだという自負があったため、とても悔しい思いをしました。6月には1年生を対象とした校内ワインディング大会があります。今はそれに向けて放課後、学校に残って友達や先生と練習をしたり、休みの日にも家で欠かさず練習をしたりしていて、次こそは上位を狙えるように頑張っています。ワインディング以外にも国家試験や検定に向けて勉強しています。

入学して約1ヶ月が経ちますが、とにかく全てが想像以上でした。想像以上に一人暮らしは大変です。炊事、洗濯、掃除に自主学習と当たり前ですが、全て一人で行うことの大変さ。気を抜くと、自分に甘くなってしまいそうで怖いです。また、想像以上に学校が大変です。授業のコマ数もそうですが、美容師になるためには多様な学習が必要であり、真剣に取り組まなければ置いて行かれそうで怖いです。でも、入学前よりも更に美容師になりたい気持ちが膨らんでいます。今後も全力で取り組んでいきたいと思います。

美容師として働くとはどういうことなのか、それを学ぶために今、美容室でアルバイトをすることを考えていて、先生と雇ってくれる美容室を探しているところです。

進んで学ぶ「発信型」の自分になれるよう努力

関西の私立大学に入学し、日本語教員を目指す女子学生

4月から新たな生活がスタートし、不安や緊張もありますが、嬉しさや楽しみの気持ちもあり順調に大学生活を送っています。

外国語を学ぶ大学を選択した理由は専攻する言語だけではなく、第二言語にも力を入れて取り組むことや自分の苦手分野であるプレゼンテーションやディスカッションが多い特徴的なカリキュラムであることから自らの意見を持ち、伝えることを鍛えられるという点です。他にもTOEICやTOEFL、IELTSなどの資格・検定対策のほか、英語や英語圏の文化を様々な視点から学ぶ、オリジナルな科目が充実していることも理由の一つです。この環境であれば目標を立て計画的に勉学に取り組むことが出来ます。また、海外の人に第二言語としての日本語を教える日本語教員を目指している私にとって必要な知識や分野も多く学べます。そんな大学の魅力をたくさん感じながら日々勉学に励んでいます。

授業においては、ネイティブの先生による外国語の授業が多く、周囲の人とコ

コミュニケーションを取り、分からないことがあればお互いをサポートし合う授業形態が自分にはとても合っていると感じています。まだ最初の段階でこれから授業が難しくなると考えると不安でもありますが、進んで学ぶ「発信型」の自分になれるよう努力しようと思います。

大学生になると、履修など今まで以上に多くのことを自分自身で先を想定し選択することが重要であり、その選択がこれからを大きく左右することを改めて実感しています。私は夢に向かって一步前進するために大学に入学しました。入学出来た背景には自分の努力ももちろんありますが、周りの方に助けていただいたことも多くあります。就職という選択肢もあった中で大学に進学すると決めたことが無駄にならないように、そして大学の授業も怠ることなく一限一限集中して一生懸命頑張りたいと思います。

英語の能力を伸ばしたい人には最高の場

九州の私立大学に入学した女子学生

入学式の前日は緊張と不安でなかなか寝付けずにいましたが、いつの間にか眠っており、入学式に向かうバスの中は楽しみの方が勝っていました。4月3日に入学式を終え、現在、何を履修するかを考えている期間です。特に専門の英語を勉強することを楽しみにしています。1年の間は、リーディングやライティング、英文法など、専門科目を中心に授業を受けることになっています。もともと英語のほかにも外国の文化について学びたい思いがあり、2年になると異文化コミュニケーションや英文学史を履修することになるようなので、今から楽しみです。大学は、サークル活動などがとても盛んで、学校で行われるイベントの数々は、各サークルに入っている学生たちが主体になり運営をしています。キャンパス内はとても自然豊かで、授業が終わった後にリフレッシュが出来るだろうと思っています。学科関係なしに行けるカフェやイングリッシュラウンジがあります。外国人学生が多く滞在しているので、英語の能力を伸ばしたい、外国人の友達を作りたいと思っている人は最高の場所です。

本を読むのが好きなので、図書館が充実していていつでも本を読めるのでとても嬉しいです。これからは図書館を利用してレポートを書く時など、たくさんの文献を読んでレポートなどの参考にしていければと思っています。

友人関係が作れるのかとても心配でした。そんな思いでいた時、入学式の日、教室に向かっている途中、1人の子に話しかけられ、そこから仲良くなりました。連絡先を交換して説明会の間、一緒に過ごせることができ、また履修登録も一緒にできたのでとてもよかったです。

私はまだ将来就きたい職業がはっきりとは決まっていますが、4年後卒業

するときに自分の就きたい職業に就けるように、今はコロナ禍でどうなるかは分かりませんが、留学をしたり、外国の友人をたくさん作ったりして、自分から積極的に授業を受け、将来に繋げていきたいです。

中国の文学や文化、歴史について詳しく学びたい

九州の国立大学に入学し、図書館司書を目指す女子学生

小さい頃から本を読むのが大好きで、図書館司書になりたいと思うようになりました。資格取得のために大学進学が必要でしたが、金銭面での不安があり進学をあきらめかけていました。しかし、奨学金の制度のおかげで入学することができました。今後は、資格取得に向けて勉学に励みつつ、興味のある中国の文学や文化、歴史について詳しく学んでいきたいと思っています。また、コロナ禍でたくさんの制限はありますが、大学生らしくバイトに勤しんだり、友達とご飯を食べに行ったりしたいと思っています。

大学に入学して約1か月が経過し、最初は不安な気持ちでいっぱいでしたが、徐々に生活のリズムができてきました。教室の場所がわからず構内を歩きまわったり、ZOOMのやり方がわからずパソコンとにらめっこをしたりしたこともありましたが、今では授業開始の5分前には教室に着けるようになり、ZOOMもスムーズに使いこなせるようになりました。電車で大学に通っていますが、最初は切符の買い方がわからず、どの乗り場に行けばいいのかもわからず、友達と一緒にないと電車に乗れなかったのですが、今では一人でも迷わず乗れるようになりました。最近では、友達とSUBWAYに行ったり、スターバックスに行ったり、新しくできた図書館に行ったりしました。あまり行ったことがない場所ばかりでとても楽しく、面白かったです。友達と市内で遊ぶことがなかったのでとても新鮮な気分でした。機会があれば、一緒に映画を見たり、買い物をしたり、旅行をしたり、高校生のおきにできなかったことをたくさんやりたいと思っています。今は大学生活とバイトをしっかりと両立できていますが、これからどんどん授業が進んでいくとレポートの内容が難しくなったり、授業数が多くなったりすると思うのでより一層気合を入れて頑張っていきたいと思っています。できるだけしっかり睡眠時間を確保し、ご飯を食べ、体調に気を使いながら頑張っていきたいと思っています。無理をせず、自分のできる範囲でバイトも大学生活も頑張っていきたいです。

情報技術に関する資格などを積極的に取得へ

東北地方の私立大学に入学し、IT技術者を目指す男子学生

工学部のシステム情報コースへと入学することができました。これからの目標として、基本情報技術者試験、IT パスポートなど、様々な情報技術に関する資格などを積極的に取得していきたいと考えています。そのためにも大学の講義にはしっかりと出席し、基礎をマスターしたら応用技術者検定などの難易度の高い検定試験にも挑戦したいです。

知り合いなどが 1 人もいないので、人との関わりを深めるためにも積極的に同じ大学、コースに通う人との会話を試み、先輩方とも会話をし、人の輪を広げていきたいです。バイトなどにも無理のない範囲で手をつけ社会経験を少しでも積みたいと考えています。

生活リズムは児童養護施設に入所していたころから常に早寝早起きなどに気をかけていたため、今のところ崩れていません。初めて来たときは全く土地勘がないため手続きなど不安しかありませんでしたが、下宿先の方に聞いたり、バスなどを駆使したりしてスムーズに進めることができました。小さいころからバスや電車を使う機会が多かったため大きなトラブルは起こらずに済みました。

大学生活は、同じ下宿に住む方と出身地が同じだったため、話が合い、少し不安は解消されました。ガイダンスでは仙台出身の方や青森出身の方と友達になることができました。まだ履修科目などは決めることができていませんが、資格取得につながる科目を進んで取りたいと思っています。システム情報コースなのでパソコンを使う機会が多くなると思いますので、今のうちにパソコンの操作に慣れておきたいです。

苦手なピアノ演奏も積極的にチャレンジ

東北地方の短期大学に入学し、保育士を目指す女子学生

新生活がスタートして約 1 か月が経ち、学校や生活にも少しずつ慣れてきました。

新型コロナウイルスの影響で入学式が中止となってしまう、不安もたくさんありましたが、友だちもたくさんでき、お弁当を一緒に食べたり、ふざけ合ったりして、楽しい学校生活を送っています。

コロナの影響で授業が午前中で終わってしまう日や学校での対面授業がない日は家で課題に取り組んだり、配信されている動画を見て遠隔授業を受けたりしています。スマホで課題や出席を提出するので、忘れてしまうことや、操作になれないことがあります。メモ目を机に貼ったり、友だちに聞くなど工夫したりして取り組んでいます。

一番難しいと感じる授業は、音楽演習 I です。私はピアノを習っていなかったので、ピアノを弾くこと、楽譜を読むことが難しいです。しかし、分からないこ

とは担当の先生に聞きにいったり、空き時間にピアノを借りて友だちと練習したりして積極的に行動しています。

生活面で大変なことは、時間やスケジュールの管理です。施設では施設の先生がメモしてくれたり、声をかけてもらったりしましたが、ひとり暮らしでは全て自分で管理しなければいけないので、カレンダーにメモしたり、スマホのアプリを活用するなどして頑張りたいです。

今後も、自分のことは自分でしっかり管理し、勉強と生活を両立できるよう工夫していきたいです。また、ピアノなど苦手なものにも積極的にチャレンジし、苦手を克服できるよう努力していきたいと思います。そして、これから実習等も始まりますが、自分の理想の保育士像を忘れず、意識し、何事にも一生懸命に、楽しく学んでいきたいと思っています。

助産師になるという目標に向けて一歩ずつ

首都圏の医療専門学校に入学し、助産師を目指す女子学生



無事入学式が終わって約3週間が経ち、本格的に授業が始まりました。友達もでき、新生活をうまくスタートが出来たと感じています。

この度は、支援をしていただき、ありがとうございます。おかげで奨学生の頃から目指している助産師になるという目標に向けて一歩ずつ進むことが出来ています。

学校生活では、徐々に看護を学び始め、思っていたより最初の授業から専門的なことでとても難しいことが多く、驚いている反面、今までと違って自分が興味のあることについて専門的なのが学べることを嬉しく感じています。分からないことは分からないままにせず、友達と話し合ったり、先生に積極的に聞きに行ったりして学ぶ意欲を大切にしたいと思っています。たく

さんの知識と技術を身に付けて、まずは看護師として働くために、国家試験合格に向けて精一杯頑張りたいと思っています。人間関係においては友達とうまく作れるかが最初は不安でしたが、一緒に頑張ることが出来そうな友達を作ることが出来、今はうまくいっていると感じているので、仲間を大切に一緒に頑張っていきたいと思っています。

私生活では、施設を出て思っていたより、1日にやらなくてはいけないことが

多くあります。日々慌ただしく過ごしていますが、お金の使い方はまだどんな風に使っているか、どこにどれだけ使っているか、まだ分からず、模索しながらですが、限りのあるお金を大切に使っていきたいです。まだまだ食事、掃除など、やらなくてはいけないことがたくさんあるので、時間を有効に使って、学習時間がしっかり確保されるように、まだ勉強が忙しくない今のうちに生活を安定していきたいと感じています。

これから先、もっとやりことが増えて忙しくなり、大変なことも増えるかと思いますが、入学式の時に決意した、必ず助産師になるという気持ちを忘れずに、自分で進むと決めた道なので、最後まで諦めず学び続け努力していきたいです。

【23期生】

自然と早寝早起き 生活リズムが安定

中国地方の短大に入学した女子学生

昨年3月に児童養護施設を退所し、(1年間の休学を経て)短期大学に自宅から通学をしています。幸いにも私の住んでいる所はコロナウイルスの影響も少ないので、予定通り4月に入学式を行い、オリエンテーションを経てすぐに授業を受けることができました。初めは新しい環境に適応していけるかどうか不安でしたが、学校の先生、両親に助けられながら今のところ安定した生活を送れています。

しかし、施設と自宅では大きく異なることもあります。施設では職員に管理されていたお金も、家庭では自己管理が必要になってくるので、だらしない使い方にならないよう気をつけています。それに、施設と違い自宅では帰宅時間や就寝時間が定められていないので、退所から入学式までは生活リズムが乱れがちでしたが、学校に行くようになってから自然と早寝早起きになり、生活サイクルが安定してきています。入学した時、大学には知人がいなかったのですが、通ううちに新しい友人ができ、明るいキャンパスライフを送れています。

勉学はやはり高校よりも専門的で、レベルが高いですが、毎日の積み重ねだと思いき、無理ない程度の勉強を毎日続けるようにしています。しっかり勉強に励むことが出来る今の環境に感謝しています。頂いた支援金は授業料、定期代に使わせていただきました。特に私は自宅と大学との距離が遠く、定期代がかなりかかるのですが、定期代は入学時にまとめて払わなければならないので、まとまったお金が受け取れるこの奨学金に非常に助けられました。高校の進路選択の際に、金銭的な不安から大学を諦めかけていたのですが、奨学金の制度を知り、進学を決めました。

こういった支援の元で学べるというのは本当にありがたいことだと実感しています。支えてくれている人に感謝をしながら、そしてそれが無駄にならないようにこれからもしっかりと勉学に励んでいきたいです。